

代表質問

住み続けたい魅力ある大牟田に 人口減少と歯止め対策



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

市長の政治姿勢

問 大牟田市の地方創生の取り組み状況を聞きたい。

答 平成28年度は、独身者を対象とした縁結び支援事業や、子ども医療費の助成拡大、児童生徒の学力向上に向けた大牟田学力ブラッシュアップ推進事業等に取り組むとともに、新商品開発等支援事業や、就職をふやす企業面談会や合同就職会などに取り組んでいる。また、シティプロモーションや、大牟田た〜んとよかところ協議会の設立に向けた取り組みを進め、プロモーション活動や現状課題への取り組み支援を行ってきた。

これらの取り組みは、おおむね順調に進捗していると認識している。

問 市内大学生の住民登録の効果は。

答 まちづくりを進めていく上では、重要な人口。例えば、本市の選挙権が発生するため、本市行政に青年層の意見が反映されることが考えられる。

問 観光資源を生かしたまちづくりとして、大牟田た〜ん

とよかところ協議会との連携について聞きたい。

答 商工会議所や観光協会など14団体で設立された大牟田た〜んとよかところ協議

会は、現在、3部会で具体的な取り組みが検討されている。地域資源を最大限生かすなど域内の消費拡大につなげる必要があり、本市も連携し取り組みを進めたい。

文化の力による地域活性化

問 大牟田市文化芸術振興プランの取り組み状況は。

答 今年度は、本市出身の絵本作家内田麟太郎さんにスポットを当て、テーマ別展覧会を開催する予定。

本プランは、他部署、他団体と協働で行う事業も多く、今後も関係機関等と連携を図り、計画的に事業を実施していきたい。



市制100周年バースデーセレモニー

問 市制100周年記念事業の取り組みを聞きたい。

答 プレ事業としてNHKのど自慢など誘致し、機運を盛り上げ、3月1日にバースデー

セレモニー、同月九州うまかもん祭りを開催。これらの催しで12万8,000人も多くの参加をいただいた。

安全で安心して暮らせるまちづくり

問 生活道路と水路における管理と整備の取り組みは。

答 道路や水路に関する要望は非常に多く、特に市民の生命、身体にかかわる緊急性の高いものは至急確認し、まずは応急的な対応を行い、安全性の確保に努めている。

今後も予算の確保に努め、可能な範囲で地域等の御協力もいただき、安全で安心な生活環境づくりに取り組みたい。

問 通学路・通園時の安全対策を聞きたい。

答 教育委員会や警察、道路管理者を中心とした大牟田市通学路安全推進会議で、危険箇所の把握、対策の実施を行っている。

通園時の安全対策は、送迎時の交通規則の遵守、注意喚起、通園バスへの配慮、職員への研修等も実施されている。

問 本市の避難勧告、避難指示や避難情報の周知方法は。

答 避難勧告等の災害情報は、防災行政無線の屋外拡声器や個別受信機、また、広報車、愛情ねっと、FMたんとう等を通じ、周知に努めている。

本年度は、新たに音声ガイドダンスや聴覚障害の方に事前登録による災害情報ファクスも導入。今後もより効果的な周知方法の研究を行いたい。